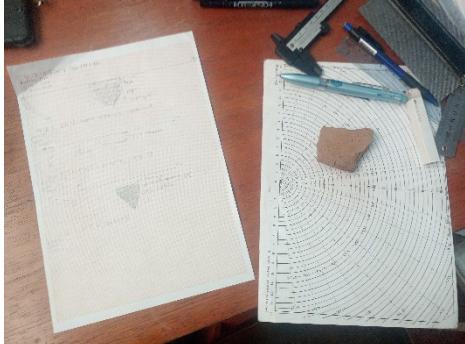


**2025年度 国際化推進事業<タイプB>①-a
大学院の国際化推進に向けた取組—海外への送り出し
渡航レポート**

南山大学の国際化推進事業では、大学院生による資料調査・フィールドワーク等の研究活動および国際学会での発表を目的とした海外渡航にかかる費用に対し、上限30万円※を助成しています。

ここでは、本事業を利用して海外渡航をした大学院生による渡航レポートを抜粋してご紹介いたします。

※助成額は2025年度の実績です。申請・審査を経て採択の可否が決定します。

所属	人間文化研究科 人類学専攻
学年	博士後期課程3年
渡航地	ペルー共和国・クスコ市
渡航カテゴリ	資料調査
研究テーマ	タンボカンチャ遺跡の土器資料調査
成果	<p>インカ帝国の皇帝の一族の領地であったタンボカンチャ遺跡を訪れ、その土器片資料を実測して、土器情報から遺跡の各区画の機能を推察できました。ペルーの文化財は国外に持ち出せず、実際に現地で出土遺物を扱えることは貴重な体験で、実際のインカの土器の大きさ、模様、材質を大いに実感することができました。</p> <p>今後は、今までに発掘のされていない区画の発掘を実現し、同じように資料の分析することによって、遺跡全体がどのような特徴を持っていたか、他の遺跡と比べてどうであったかということを明らかにしていきたいです。</p>
写真	 

所属	人間文化研究科 人類学専攻
学年	博士後期課程 2 年
渡航地	ペルー共和国・カハマルカ県、アンカシュ県
渡航カテゴリ	フィールドワーク
研究テーマ	ペルー北部、ユベー遺跡の発掘調査およびコロンゴ郡の遺跡分布調査
成果	<p>15~16世紀に成立したインカ帝国の祖型とされるワリ国家の時代に、各地域の社会がどのように変化していたのかという関心から調査を行いました。</p> <p>カハマルカ県では、考古学者、大学生、地元住民など 20 人以上から成る大規模な発掘調査プロジェクトに参加しました。同じグループの作業員の引率や指示・監督を担当したことや、地元の中学生に発掘の目的や成果を分かりやすく、関心が高まるように説明した経験から、異なる文化や言語環境の中でチームをまとめ、地域社会との協力のもとで研究を進めるための力を養うことができました。</p> <p>アンカシュ県では、自身の博士論文研究の一環として、コロンゴ郡とその南隣に位置するワイラス郡で遺跡分布調査を実施しました。地元住民の日常生活や権利を尊重しながら、円滑に調査を心掛けた結果、彼らが所有する土器資料を閲覧したり、人づてで知られていない遺跡の情報を入手したり、過去に失われてしまった墓の発見当時の状況を教えて貰ったりと、地域社会との信頼関係を基盤とした重要な成果を得ることができました。</p>
写真	 

所属	社会科学研究科 経営学専攻
学年	博士前期課程 2 年
渡航地	中華人民共和国・広東省 東莞市
渡航カテゴリ	フィールドワーク
研究テーマ	中国玩具企業の独自ブランド獲得に関するヒアリング調査
成果	<p>今回のフィールドワークでは、事前に立てた仮説をもとに中国の玩具製造企業の経営幹部へのヒアリングを行い、玩具製造企業がコンテンツ産業と製造業の融合体であることを前提に、下請け生産から独自ブランドの設立へ発展するために必要な能力（転換能力）を明らかにした。</p> <p>さらに、独自ブランドへの転換に成功した企業と停滞・失敗した企業の双方を対象に、経営資源の共通点と相違点を整理し、その能力の獲得プロセスと影響要因を解明した。また、玩具分野における転換能力と、他の製造分野におけるキャッチアップや進化能力との相違点・類似点を考察した。</p>
写真	

所属	社会科学研究科 総合政策学専攻
学年	博士後期課程 2 年
渡航地	台湾・台北市、新北市
渡航カテゴリ	資料調査、フィールドワーク、研究者訪問
研究テーマ	台湾の県市レベルにおける女性の政治参画に関する史的考察－女性団体の役割に着目して－
成果	<p>現地の公的資料館・図書館に所蔵される一次史料の閲覧・収集、ならびに台湾社会史およびジェンダー研究の専門家諸氏との学術的対話を実施しました。</p> <p>その最大の成果は、戦後台湾における女性の政治参加の歴史について、従来の首都圏エリート層を中心とした歴史像だけでは捉えきれなかった、地方における草の根の活動といった地域的特質を具体的に把握できることです。</p> <p>将来的には、本研究で明らかになった台湾社会の多元的な歴史像を、国際的な学術交流や教育の場で発信していくための基盤としたいです。</p>
写真	

所属	社会科学研究科 経営学専攻
学年	博士前期課程 2 年
渡航地	ネパール・カトマンズ、バイラワ、ナワルパラシ、ポカラ
渡航カテゴリ	フィールドワーク
研究テーマ	新興国の市場形成期における差別化行動：ネパールのバイク品質調査
成果	今回のフィールド調査では、現地のバイク修理工場や組立工場を訪問し、バイク市場がどのように形成されているのかを詳しく理解できた。特に、ブランドごとの耐久性と保守性、消費者が重視するポイントを直接現場で学べたことが大きな成果である。今後は、この調査で得たデータを活用し、修士論文で新興国における市場形成と差別化戦略の実態を明らかにしていく予定である。
写真	 

所属	社会科学研究科 経営学専攻
学年	博士後期課程 3 年
渡航地	インドネシア・スラカルタ
渡航カテゴリ	学会での研究発表
発表題目	Impact of Transportation Network Linkages on Foreign Tourist Consumption
成果	現在進められているリニア中央新幹線の開通によって日本の三大都市圏にどのような影響が生じるのか、また、愛知県内の市区町村でも観光客の流入・流出がどのように変化するのかという点に関心を持ち、官公庁や民間が保有する観光ビッグデータを活用した定量的分析と、幾つかのシナリオに基づく将来予測を行いました。今回の研究発表の内容に基づく英語の査読付き論文が採択され、EASTS 誌に掲載されました。今後はこの成果を基に、地域の観光振興や交通政策に役立つ研究をさらに展開していきたいと考えています。
写真	